

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

| | | | | | | | |
|------|---|-----|---------------------|----|------|----|----|
| 教科 | 国語 | 科目 | 古典探究 | 学年 | 第2学年 | 類型 | Ⅱ型 |
| 単位数 | 2単位 | 教科書 | 古典探究 古文編・漢文編（大修館書店） | | | | |
| 補助教材 | 学ぶぞ 古文と漢文（尚文出版）、核心古文単語351（尚文出版） 〔新版六訂〕カラー版新国語便覧（第一学習社） | | | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|------|--|

| 学期 | 月 | 単元（学習項目） | 学習内容・単元の目標 | 定期 考査 |
|---------|------------------|---------------------------------|--|-----------|
| 1 学期 | 4月 | 説話 十訓抄 大江山いくのの道 | 和歌の文化的背景とそれに携わる人物関係を踏まえ、「大江山……」の和歌を軸に、人物の言動や心情を読み取る。 | 中間 考査 |
| | 5月 | 物語（一） 伊勢物語 初冠 | 歌物語の特徴、和歌と地の文の関係や表現技巧を理解して読む。 | |
| | 6月 | 随筆（一） 徒然草 家居のつきづきしく | 中世的無常観にもとづく、作者のものの見方、感じ方、考え方を理解し、現代人の考え方と比較する。 | |
| | 7月 | 故事逸話 画竜点睛 漱石枕流 | 漢文訓読に関する知識や基本的事項を理解する。 故事成語の意味の成り立ちを理解し、故事・逸話の叙述の面白さを味わう。 | |
| 2 学期 | 8月 | 随筆（二） 枕草子 中納言参りたまひて | 清少納言の感性と機知を理解し、宮廷生活の面白さを味わう。 | 中間 考査 |
| | | 日記 更級日記 門出 | 物語作品などへの憧れと夢を抱く作者の心情を理解する。 | |
| | 9月 | 漢詩 峨眉山月歌、登岳陽樓 | 詩人たちの人生観や自然観について興味・関心を抱くとともに、その生きた時代や社会についても認識を深める。 | |
| | 10月 | 物語（三） 大鏡 競べ弓 | 登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどう思っているかを考える。 | |
| | 11月 | 思想 性猶湍水也 小国寡民 | 道家的な生き方と儒家的な生き方の違いについて考える。 | |
| 12月 | 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 | 和歌の発想や表現、韻律、修辞法など、独特の表現方法を理解する。 | | |
| 3 学期 | 1月 | 物語（二） 源氏物語 光源氏の誕生 | 登場人物の人間関係を正確につかみ、それぞれの心理の動きをたどる。 | 学年 末考査 |
| | 2月 | 史伝 鴻門の会 沛公項王に見ゆ 項王の最期 四面皆楚歌す | 司馬遷の歴史観や人間観を理解し、歴史物語の面白さを味わう。 | |
| | 3月 | | | |

| | |
|-------|---|
| 学習の方法 | <p>事前学習では、言葉の意味を調べたり、辞書を活用したりしながら古典を理解していきましょう。授業中は大事なところをメモしながら、丁寧に文字を書くように心掛けましょう。文法的知識を習得し、主旨を把握することはもちろん、今も昔も変わらないものの考え方や見方を捉えることが大切です。</p> |
|-------|---|

| | | | |
|-------|---|---|---|
| 評価の観点 | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができている。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。 |
| 評価方法 | <p>評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・レポート・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。</p> | | |